【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公表番号】特表2002-503697(P2002-503697A)
【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)
【出願番号】特願2000-532127(P2000-532127)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/74　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/74　B
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｐ　13/10
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月29日(2008.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　膀胱ガンを有するほ乳類の膀胱中のガン細胞の成長を阻害する医薬組成物であって、
　ａ．マイコバクテリウム・フレイ(M. phlei)デオキシリボ核酸(M-DNA)；
　ｂ．脱タンパク質化、脱脂質化されたM. phleiの細胞壁であって、前記M-DNAが保持され、複合体化されたM. phleiの細胞壁、および
　ｃ．薬学的に許容される担体
を含み、膀胱ガンを有するほ乳類の膀胱内のガン細胞成長を抑制するのに有効な量で、ガンを有するほ乳類の膀胱に投与される医薬組成物。
【請求項２】　免疫系細胞が生物活性分子を生産するように刺激されることにより前記ガン細胞成長が抑制される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】　前記生物活性分子がサイトカインおよび活性酸素種からなる群から選択される、請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】　前記サイトカインがIL-6、IL-10およびIL-12からなる群から選択される、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】　前記サイトカインがIL-12である請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】　前記ガン細胞成長はガン細胞へのアポトーシス誘導により抑制される、請求項1に記載の医薬組成物。
【請求項７】　前記アポトーシス誘導が異常Fasに依存しない、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】　前記アポトーシス誘導が異常p53/p21に依存しない、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項９】　前記アポトーシス誘導が薬剤耐性に依存しない、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項１０】　前記の薬学的に許容される担体が液体担体および固体担体からなる群か

ら選択される、請求項1に記載の医薬組成物。
【請求項１１】　前記ガン細胞成長がガン細胞増殖の阻害により抑制される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１２】　前記ガン細胞成長がガン細胞中のカスパーゼの活性により抑制される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】　膀胱ガンを有するほ乳類の膀胱内のガン細胞の成長を阻害する医薬組成物であって、
a．マイコバクテリウム・フレイ(M. phlei)デオキシリボ核酸（M-DNA）および、
b．薬学的に許容される担体を含み、
ガンを有するほ乳類の膀胱に、膀胱ガンを有するほ乳類の膀胱中のガン細胞の成長を抑制するのに有効な量で投与される医薬組成物。
【請求項１４】　前記の薬学的に許容される担体が、液体担体および固体担体からなる群から選択される請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項１５】　前記ガン細胞成長がガン細胞中へのアポトーシス誘導により抑制される、請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項１６】　前記アポトーシス誘導が異常Fasに依存しない、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１７】　前記アポトーシス誘導が異常p53/p21に依存しない、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１８】　前記アポトーシス誘導が薬物耐性に依存しない、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１９】　免疫系細胞が生物活性分子を生産するように刺激されることにより前記ガン細胞成長が抑制される、請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項２０】　前記生物活性分子がサイトカインおよび活性酸素種からなる群から選択される、請求項１９に記載の医薬組成物。
【請求項２１】　前記サイトカインが、IL-６、IL-10およびIL-12からなる群から選択される、請求項２０に記載の医薬組成物。
【請求項２２】　前記サイトカインがIL-１２である請求項２１に記載の医薬組成物。
【請求項２３】　前記ガン細胞成長がガン細胞の増殖阻害により抑制される請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項２４】　前記ガン細胞の成長が該ガン細胞中のカスパーゼ活性により抑制される、請求項１３に記載の医薬組成物。